

西浦会長  
おめでとうございます！

### 「赤ちゃんふれあい会」の活動が表彰されました！

「赤ちゃんふれあい会」の活動は、これまでの功績が評価され、平成23年度に住友生命の「未来を築く子育て支援プロジェクト」で未来大賞を受賞し、令和元年12月に、パナソニック教育財団主催のこころを育む総合フォーラム「2019年度子どもたちの“こころを育む活動”」では、優秀賞を受賞されました！

受賞された西浦会長から、活動内容を紹介させていただきます。



### 命の授業「赤ちゃんふれあい会」

#### ぶろじゅくとえんの活動

鳥取県青少年育成アドバイザー会長  
西浦 公子

パナソニック教育財団の 子どもたちの“こころを育む活動”で優秀賞をいただきました。

2005年から始めた「赤ちゃんふれあい会」は旧赤崎高校教師の高塚人志先生に学んだものです。生徒が、赤ちゃんとふれあうことによってコミュニケーション力や自己肯定感・自尊心などが身に付き、社会貢献までできるように変わったという話を聞いて、ぜひ岩美町でもしたいと、まず岩美中の校長先生に話したところ、即受け入れていただき始まりました。

現在は、小学校5年生と中学校2年生が「赤ちゃんふれあい会」をしています。14年間続いているので、赤ちゃんで参加した生徒が今度は赤ちゃんを抱っこする立場になっています。「赤ちゃんふれあい会」の前には、親に「あなたが赤ちゃんだった時参加したのよ。」と、ペアで撮った写真を見せてもらって参加してくる生徒もいました。継続していればこそそのうれしい話です。

この授業は、赤ちゃんにとっては穏やかな空間で「かわいい！」「かわいい！」と言ってもらえて、脳の発達に効果があるし、保護者は初対面の生徒がわが子をかわいがしてくれる様子を見たり、我が子が大きくなった時を想像できたり。生徒は自分が赤ちゃんだった頃こんなに大切に育てられていたのだと思いをはせ、自分がここにいていい存在なのだと思信でき、自己肯定感を感じることができる。そして保護者との会話を楽しめる。三者三様にいいところがある授業だと考えていますが、学校はだんだんと忙しくなっているようで…が、この授業はぜひ残してほしいと切に願っています。

2月に東京にて表彰式がありますので行ってきます。

時を同じくして、「ぶろじゅくとえん」がこども王国の取材も受けました。



こども王国の取材の様子です



昨年の大事業、「鳥取県青少年育成アドバイザー養成講習会・入門コース」開催にあたり、ご尽力くださった新川事務局長に そのご苦勞話をお願いしました。

## 令和元年初！新しい取り組み

### 「アドバイザー養成講習会」について

事務局長 新川裕二

今年度、山本会長退任に伴い西浦新会長が誕生し、新たなスタートを切った。西浦新体制で大きな目玉事業は、「鳥取県青少年育成アドバイザー養成講習会」の開催である。

全国での青少年育成アドバイザー養成講座が復活して数年たち、鳥取県からも毎年少しずつ派遣してきた。が、本県での養成講座の初級講座の実施については、事務局長の怠慢により実施できなかった。(申し訳ありません。)前会長の悲願だった鳥取県での講座開催。そのような中、新会長は県の補助事業をよく活用されていて、提案頂いたのが「令和新時代創造県民運動推進補助金」の活用をすること。

そして今、私たちの会でも後継者育成が大きな課題であった。少しでも新会員を増やすために、一歩踏み出そう。そんな意気込みが今回の講習会開催に至ったと思う。

急きょ計画立案。自分自身が5月から7月本業の忙しい時期であり、また会員が全県下に散らばっているので、なかなか集まることも難しい。そこで、メールのやり取りを通しプログラム作成。そして申請、受講生集めに奔走した。

(1) 今回のプログラム作成に当たって大切にしたのは、二つです。

一つ目は、会員の専門性を活かすこと。それぞれ会員は、素晴らしい専門分野を持っている。その会員の持ち味を来られた方に味わってほしいということ。

二つ目は、全日本の青少年育成のプログラムを意識しながら、それに準じて作成すること。

(2) 申請については、提出まで三役とメール協議をしながら作成し、何とか申請が通った。

(3) どう受講生を集めるか？文書1本ではなかなか人は集まらないことを社会教育の経験から感じていた。

その対策は、

- 1) 県民会議から青少年育成推進指導員さんへ依頼をしていただいた。
- 2) 県下の社会教育担当者会(東・中・西部)に参加させていただき、副会長同伴でお願いに上がる。県社会教育課・各教育局にご支援いただいた。
- 3) 全市町村の社会教育関係課にメール依頼した。
- 4) アドバイザー会員のつながりで地道に声掛けをしてもらった。

その結果、20名の定員に対し17名申込があり、当日は15名の皆さんに受講していただく。

講習会当日は、後援団体の3団体と、県から中部総合事務所長・県社会教育課担当係長・県民会議事務局長にも列席いただき、開会にこぎつけた。

会員はもちろん、後援団体等多くの皆さんにご支援ご協力いただき充実した会になったと思います。アドバイザー会員が、「ワンチーム」で動いていただいたおかげで、多くの成果があったと思います。是非、来年につなげましょう！今回の反省点は、受講生の皆さんにとっても講師のアドバイザーも、詰め込みすぎたかな？

(1)10時から17時まで、汲々としたプログラムで疲れられたと思う。ゆとりある、そして魅力ある交流もできるプログラムが望まれる。(ごめんなさい)

(2)現会員の持ち味を出していただいたが、講演等の時間が短くて不完全燃焼だったのではと感じた。⇒ゆったりした時間の工夫が大切だったかな？

これから、

「子どもの為にしなければならない」⇒「子どもと共に楽しみたい」に！

子ども達と関わることが楽しい、保護者や育成に関わる人たちが、やりがいをもって取り組める。そんな、機会の提供になればいいですね。

少子化だからこそ、

宝である子どもたちを優しく、たくましい子に！

関わるとは、

いつも笑顔で子どもの心に寄り添い、学ぶ人に！

近く、大人のあなたが、それを担っているのです。

あなたの一歩が、必要です！

私の人生、子ども達の未来、

町や鳥取県・日本、いや地球の未来のために！

2020年 オリンピックの年

さらに飛躍する鳥取県青少年育成アドバイザーの会に  
していきましょう！！

新川事務局長 ほんとうにおつかれさまでした。

たいへんご苦勞とともに“ゴツ”が  
うかがえました。



おかげさまで、養成講習会終了後には新しい仲間が増えました。令和2年最初の研修会では(1月18日)、新メンバーを迎えて賑やかに、かつ熱心な意見交換がなされました。今後のアドバイザーの活動に期待が持てそうな、新年のスタートとなりました。



世間はもっぱら新型コロナウイルスの話題でもちきりです。2月10日現在、中国での死者はついに1,000人を超えました。まだまだ終息しそうにありません。そこで、少しだけウイルスのこゝについて勉強!

### 一般的にウイルスとは

- 大きさ 約 20~30nm ~ 250nm(ナノメートル)  
1nm(ナノメートル)は1mmの1,000,000分の1
- 生きた細胞のなかで増殖する  
(生きた細胞のなかでないと生きていけない)
- アルコール消毒が有効
- 抗生剤で不活化されない(抗生物質が効かない)

### ウイルスの基本構造



ヌクレオカプシドというたんぱく質に覆われている

ヌクレオカプシドのさらに外側をエンベロープという脂質膜が覆っている

エンベロープの有るか無いかによって消毒薬に対する感受性が異なる

◎通常のウイルスは**アルコール消毒が効く**

エンベロープは脂質だから、アルコールがエンベロープを溶解してウイルスは死滅する。

(通常の70%アルコール有効)

さらに、熱にも弱い。(56°C30分)



◎インフルエンザウイルス、コロナウイルスは、エンベロープを持っています!

◎ノロウイルス等はエンベロープを持たず、脂質ではなくタンパク質本体(ヌクレオカプシド)がむき出しの状態なので、アルコール消毒が効かない



◎ノロウイルスには、タンパク質を凝固・変性させる次亜塩素酸ナトリウム消毒が有効。

\*0.02 次亜塩素酸ナトリウム液

水道水 500mLペットボトル1本分に塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム濃度 5%)を 2mL(500mLペットボトルのキャップ約半杯分)入れて混和

◎では、コロナウイルスとは

大きさ 100nm で、日本でもありふれたウイルス  
風邪の時の 10%~30%は

HCoV-229E, HCoV-OC43, HCoV-NL63,

HCoV-HKU1 という 4 種類のコロナウイルスが原因。

比較的軽症で小児の段階で感染を経験している。

◎新型コロナウイルスとは、

今まで確認したことのないタイプのコロナウイルス

◎これまでも、コウモリのコロナウイルス(SARS-CoV)

が、人に感染して感染者 8,000 人、死亡者 700 名以上、ヒトコブラクダのコロナウイルス(MERS-CoV)が人に感染して話題になったことがある。



◎対策

ワクチンや治療薬はないので予防が重要

新型コロナウイルスの対策は従来のコロナウイルスと同じ  
アルコール消毒 + マスク着用



### ~編集後記~

原稿不足のため、苦しまぎれに看護学生講義用スライドの“微生物学”の一部で「場」をうめさせていただきました…。

ネット上では、新型コロナウイルスの間違った情報や極端な恐怖心が溢れているとか。正しく恐れて正しく対処!です。

人類はこれまで、さまざまな細菌やウイルス、プリオンなどの感染症と戦ってきました。撲滅してもなお、次から次へと新しいタイプの感染症が発生します。動物のウイルスが、ヒトの細胞で生息できるよう変異しているのでしょうか。

さて、私たちアドバイザーメンバーも、ウイルスのようにしぶとく、どんな風に変異していきましようか…。